

検査を行う際に、起こるかもしれない事柄について患者さんへ説明し、同意を得ておくものです。
この【検査説明・同意書】は、内視鏡検査を行う際のものを例にしています。

検査説明・同意書

（例）上部消化管内視鏡検査

- (1) 上部消化管内視鏡検査は、口から内視鏡を挿入して食道・胃・十二指腸の状態を観察する検査です。検査の結果、医師が必要を認めた場合に胃の粘膜（細胞）の一部を採取（生検と言います）して、顕微鏡で調べる場合があります。
- (2) 検査時の薬の影響で、ふらふらしたり尿が出にくくなることがあります。
- (3) 内視鏡検査を行う前に採血をして、肝機能や感染症の検査を行います。
- (4) 検査に際し、まれに出血や穿孔を生じる場合があります。検査後に黒色便や血便が出たり、腹痛やのどの痛みが続く場合は主治医までご連絡願います。
- (5) その他

患者：_____様の上部消化管内視鏡検査について、説明いたしました。

年 月 日

医師 _____ 印

院長 殿

私は、上記内容に従って検査に対する説明を受け、その実施に同意します。また、検査実施中に緊急の処置を行う必要が生じた場合は、適宜必要な処置を受けることを了承します。

年 月 日

患者氏名 _____ 印

代 諾 者 _____ 印 （続柄： _____）